今週の「人権啓発映画上映会」スケジュールと作品紹介

上映日	開始時刻	上映作品名	整理番号 上映時間	関連する人権課題等
15日（月）	12:10	みすゞ　misuzu ※　105分の作品を約35分ずつ上映します。	B29 105分	女性の人権
16日（火）	12:10			
17日（水）	12:10			
18日（木）	12:10	家庭からふりかえる人権　話せてよかった	A142 ２7分	人権全般
19日（金）	12:10	元気に再チャレンジ ～キラキラしている女性たち～	B24 ２5分	部落差別（同和問題）
22日（月）	12:10	働きつづけてよかった ～私たちの妊娠・出産・子育て体験～	B31 25分	女性の人権
23日（火）	12:10	もっと素敵にハーモニー	B27 30分	女性の人権
24日（水）	12:10	【上映作品のリクエスト受付中】		
25日（木）	12:10	家庭からふりかえる人権　話せてよかった	A142 ２7分	人権全般
26日（金）	12:10	部落の心を伝えたいシリーズ 第7巻　人間の尊厳を求めて	F69 25分	部落差別（同和問題）

○作品名　**部落の心を伝えたいシリーズ 第7巻　人間の尊厳を求めて**

２004年、自力自闘で作り上げた「やさしい里」は、解放運動50年に及ぶ森田さんの集大成の場。人間の尊厳を求めて―その貧しく苦しい生いたちから学び、人との出会いや長い闘いの中で身につけた理論と実践の後に、成果という大きな足跡が遺っている。

内　容

○作品名　**みすゞ　misuzu**

大正時代の童謡詩人、金子みすゞの一生を描いたドラマ。書店で働くみすゞは本を読み耽り、詩を投稿するようになる。親友や、みすゞを密かに慕う弟の助けを得ながら、温かな詩風は人々を魅了していくが、26歳のときに自ら死を選ぶ。映画はみすゞを巡る人々を通じて、その人間像と透明な詩の世界に迫る。みすゞの生きた時代の空気や、街の佇まいを甦らせた映像美も印象的な作品。

○作品名　**家庭からふりかえる人権　話せてよかった**

日常の中の思い込みによって生じる問題を描き、相互理解のためのコミュニケーションによって、その問題と向き合うことを提案します。家庭の人間関係は、私たちの人権意識を育む基盤です。そこからふりかえることで、組織や社会における意識も見つめ直すことができるのではないでしょうか。自分の中にある思い込みに気付き、自分も相手も尊重する人間関係を築くために、職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。

○作品名　**働きつづけてよかった　～私たちの妊娠・出産・子育て体験～**

出産前後や子育て中の働く女性を訪ね、仕事と子育ての両立の工夫や喜びを紹介します。働き続けるための職場の制度や働く女性を保護する法律についても伝えます。中学校、高等学校、職場の上司・健康管理部門の方々にお薦めです。

○作品名　**もっと素敵にハーモニー**

仕事一筋で家庭をかえりみない博。家のことや地域のことは妻に任せっきり。子どもとの会話も無い状態に過程の不満がつのる。また、その博の思い込みや行動が会社でも不協和音を生じ始めさせている。そんな時、博の父・清一が怪我をした。博はしぶしぶ介護休業を取得して父の世話をすることになった。博と同じく仕事一徹だった父・清一だが以外にも地域で顔が広いことに驚かされる。父の変わりようと、介護休業中に出会った人たちの、イキイキとした生活ぶりに触れ、やがて博の意識と行動に変化が見え始める。

○作品名　**元気に再チャレンジ ～キラキラしている女性たち～**

家事と育児に明け暮れる日々を送っていた主婦・山田裕美は、再び社会で働きたいと思い立ち、早速活動を始めるも不採用。３０歳代も後半でいまだ子育て中。社会との関わりを絶って久しい裕美に再就職の道は険しかった。そんな折り、地域の女性センター等で開催される「再就職支援セミナー」に参加し、社会へ再チャレンジを目指す仲間が大勢いることを知り、勇気づけられる。裕美は再び、求職活動に積極的に取り組む姿を描くドラマ。実際に再チャレンジを果たした女性達が登場し、実体験を語りながらエールを送る